

令和1年 7月17日

文部科学大臣
柴山 昌彦 殿

学校法人跡見学園
理事長 山崎 一穎

大学等における修学の支援に関する法律第7条第1項の確認に係る申請書

○申請者に関する情報

大学等の名称	跡見学園女子大学
大学等の種類 (いずれかに○を付すこと)	<input checked="" type="checkbox"/> 大学・短期大学・高等専門学校・専門学校
大学等の所在地	東京都文京区大塚 1-5-2
学長又は校長の氏名	学長 笠原 清志
設置者の名称	学校法人 跡見学園
設置者の主たる事務所の所在地	東京都文京区大塚 1-5-9
設置者の代表者の氏名	理事長 山崎 一穎
申請書を公表する予定のホームページアドレス	http://www.atomi.ac.jp/univ/

大学等における修学の支援に関する法律(以下「大学等修学支援法」という。)第7条第1項の確認を申請します。

※ 以下の事項を必ず確認の上、すべての□にレ点(☑)を付けて下さい。

- この申請書(添付書類を含む。)の記載内容は、事実と相違ありません。
- 確認を受けた大学等は、大学等修学支援法に基づき、基準を満たす学生等を減免対象者として認定し、その授業料及び入学金を減免する義務があることを承知しています。
- 大学等が確認を取り消されたり、確認を辞退した場合も、減免対象者が卒業するまでの間、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。
- この申請書に虚偽の記載をするなど、不正な行為をした場合には、確認を取り消されたり、交付された減免費用の返還を命じられる場合があるとともに、減免対象者が卒業するまでの間、自らが費用を負担して、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。
- 申請する大学等及びその設置者は、大学等修学支援法第7条第2項第3号及び第4号に該当します。

○各様式の担当者名と連絡先一覧

様式番号	所属部署・担当者名	電話番号	電子メールアドレス
第1号	事務局庶務課・中村英昭	048-478-3333	d-shomu@atomi.ac.jp
第2号の1	教務部教務課・渡邊泰教	048-478-3340	d-kyomu@atomi.ac.jp
第2号の2	教務部教務課・渡邊泰教	048-478-3340	d-kyomu@atomi.ac.jp
第2号の3	教務部教務課・渡邊泰教	048-478-3340	d-kyomu@atomi.ac.jp
第2号の4	教務部教務課・渡邊泰教	048-478-3340	d-kyomu@atomi.ac.jp

○添付書類

※ 以下の事項を必ず確認し、必要な書類の□にレ点 (☑) を付けた上で、これらの書類を添付してください。(設置者の法人類型ごとに添付する資料が異なることに注意してください。)

「(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置」関係

- 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書(シラバス)《省令で定める単位数等の基準数相当分》

「(2)-①学外者である理事の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の設置者の理事(役員)名簿

「(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織に関する規程とその構成員の名簿

「(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」関係

- 客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書(シラバス)【再掲】

その他

- 《私立学校のみ》経営要件を満たすことを示す資料
- 確認申請を行う年度において設置している学部等の一覧

(添付書類) 経営要件を満たすことを示す資料

学校名	跡見学園女子大学
設置者名	学校法人 跡見学園

I 直前3年度の決算の事業活動収支計算書における「経常収支差額」の状況

	経常収入(A)	経常支出(B)	差額(A)-(B)
申請前年度の決算	6,846,002,877円	6,586,699,493円	259,303,384円
申請2年度前の決算	6,635,596,514円	6,384,676,519円	250,919,995円
申請3年度前の決算	6,498,372,447円	6,320,527,787円	177,844,660円

II 直前の決算の貸借対照表における「運用資産-外部負債」の状況

	運用資産(C)	外部負債(D)	差額(C)-(D)
申請前年度の決算	17,542,993,978円	148,759,641円	17,394,234,337円

III 申請校の直近3年度の収容定員充足率の状況

	収容定員(E)	在学生等の数(F)	収容定員充足率 (F)/(E)
今年度(申請年度)	3,880人	4,369人	113%
前年度	3,880人	4,158人	107%
前々年度	3,880人	3,980人	103%

(IIの補足資料)「運用資産」又は「外部負債」として計上した勘定科目一覧

○「運用資産」に計上した勘定科目

勘定科目の 名称	資産の内容	申請前年度の決算に おける金額
		円
		円
		円

○「外部負債」に計上した勘定科目

勘定科目の 名称	負債の内容	申請前年度の決算に おける金額
		円
		円
		円

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	跡見学園女子大学
設置者名	学校法人 跡見学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
文学部	人文学科	夜・通信	47	8	14	69	13	
	現代文化表現学科	夜・通信	47	8	15	70	13	
	コミュニケーション文化学科	夜・通信	47	8	17	72	13	
	臨床心理学科	夜・通信	47	8	12	67	13	
マネジメント学部	マネジメント学科	夜・通信	47	12	14	73	13	
	観光マネジメント学科	夜・通信	36	4	12	52	13	
	生活環境マネジメント学科	夜・通信	47	12	14	73	13	
観光コミュニティ学部	観光デザイン学科	夜・通信	47	8	15	70	13	
	コミュニティデザイン学科	夜・通信	47	8	16	71	13	
心理学部	臨床心理学科	夜・通信	47	0	14	61	13	
(備考) 1. 文学部臨床心理学科は、平成30年4月より学生募集を停止している。 2. マネジメント学部観光マネジメント学科は平成27年4月より学生募集を停止しており、教育課程改正に伴って全学共通科目の数が少なくなっている。								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

大学ホームページに一覧表（別紙 1、2 <http://www.atomi.ac.jp/univ/news/detail/4356/>）を掲載すると共に、「実務経験のある教員等による授業科目」、「授業に関連する実務経験（経歴）」、「実務経験の活用」等の項目が記載された電子シラバスを掲載する予定。

シラバス検索

<https://unipa-web.atomi.ac.jp/up/faces/up/co/Com02401A.jsp>

※上記アドレスでログイン画面が出た場合は、ログイン画面で「ゲストユーザー」をクリックしてから参照してください。

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	跡見学園女子大学
設置者名	学校法人跡見学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学園 HP http://www.atomi.ac.jp/about/organization_education/ にて公開

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	金融機関役員	平成29年6月24日 ～ 令和2年6月23日	財務及び組織運営全般
非常勤	校友会役員	平成29年6月18日 ～ 令和2年6月17日	組織運営体制のチェック機能
非常勤	校友会役員	平成29年6月18日 ～ 令和2年6月17日	組織運営体制のチェック機能
非常勤	税理士	平成30年4月1日 ～ 令和2年5月29日	組織運営体制のチェック機能
非常勤	民間企業役員	平成29年6月18日 ～ 令和2年6月17日	組織運営体制のチェック機能
非常勤	元文部政務次官	平成29年6月18日 ～ 令和2年6月17日	組織運営体制のチェック機能
非常勤	研究所顧問	平成29年6月24日 ～ 令和2年6月23日	組織運営体制のチェック機能
非常勤	社団法人役員	平成29年6月24日 ～ 令和2年6月23日	組織運営体制のチェック機能
非常勤	金融機関役員	平成29年6月24日 ～ 令和2年6月23日	組織運営体制のチェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	跡見学園女子大学
設置者名	学校法人 跡見学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>教育課程に従い、過去の履修者数の状況や担当教員の配置等により年間の開講講義数を計画している。計画にあたっては、執行部会議・全学教務委員会・全学共通科目運営センター会議・大学評議会において審議・決定している。</p> <p>また、各年度の開講科目について、下記の事項を記載したシラバスを作成し、公開している。シラバスの内容については、学生・教職員用のポータルサイトにて検索、照会できる他、大学公式サイト内のシラバス検索ページからも閲覧可能である。</p> <p>「シラバス記載項目」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○科目ナンバー ○科目名 ○担当者 ○開講期 ○科目区分 ○履修開始年次 ○数 ○曜日/時限 ○教室 ○授業題目 ○授業の達成目標 ○今年度の授業内容 ○自習に関する一般的な指示事項 ○授業スケジュール ○授業の運営方法 ○成績評価の方法（評価の種類・割合(%)・評価基準、評価方法) ○テキスト ○参考文献 ○関連ページ ○その他、履修生への注意事項 	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>Atomi Information Portal</p> <p>https://unipa-web.atomi.ac.jp/up/faces/login/Com00505A.jsp</p> <p>シラバス検索</p> <p>https://unipa-web.atomi.ac.jp/up/faces/up/co/Com02401A.jsp</p> <p>※上記アドレスでログイン画面が出た場合は、ログイン画面で「ゲストユーザー」をクリックしてから参照してください。</p>

<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価してを与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 『学生便覧 平成31(2019)年度』 http://www.atomi.ac.jp/univ/resources/pdf/life/study/gakusei_binran.pdf (p.452)</p> <p>成績の評価及びの認定に関する規程 第一章総則 第二条 成績の評価は、十五週又は三十週の授業が終結したとき、又は学部学則第二十条第2項及び大学院学則第二十二條第2項の規定により変更した週数の授業が終結したとき、授業科目の履修登録を行った者で、かつ授業時数の三分の二以上出席したものに対して行う。</p> <p>成績の評価及びの認定に関する規程 第三章成績の評価 第七条 成績の評価は、試験又は小論文により行う。ただし、作品の提出、授業への参加の程度その他授業科目の担当者が定める別の方法により行うことができる。 2 前項でいう別の方法には、授業が終結した後の学修の評価を含むことができる。</p> <p>第八条 成績の評価は、百点を満点とし、百乃至九十点をS、八十九乃至八十点をA、七十九乃至七十点をB、六十九乃至六十点をC、五十点乃至四十点をD、三十九点以下をEとする。 2 前項のS、A、B又はCを合格とし、D又はEを不合格とする。</p> <p>成績評価基準、評価方法については様式第2号の3の1記載の通り、本学電子シラバスにて公開している。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 『学生便覧 平成31(2019)年度』 http://www.atomi.ac.jp/univ/resources/pdf/life/study/gakusei_binran.pdf (p.424)</p> <p>なお、客観的な指標に基づく成績の分布状況は、別紙3の通りである。</p> <p>跡見学園女子大学履修規程第6章雑則 (GPA) 第21条 GPA (Grade Point Average) の算出は、次の算式による。 履修登録総数</p> $\frac{(S\text{評価の総数} \times 4) + (A\text{評価の総数} \times 3) + (B\text{評価の総数} \times 2) + (C\text{評価の総数} \times 1)}{\text{履修登録総数}}$ <p>ただし、この算式において、分子における「総数」は前学期までに修得した科目の総数とし、分母における「履修登録総数」は前学期までに履修登録した授業科目の総数とする。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>本学ホームページ、『学生便覧』 http://www.atomi.ac.jp/univ/resources/pdf/life/study/gakusei_binran.pdf (p.424)</p>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 『跡見学園女子大学 ディプロマポリシー (学位授与の方針)』 http://www.atomi.ac.jp/univ/information/policy.html#content-01</p> <p>創立者跡見花隈の教育精神を継承して、学識、品性、倫理ともに優れた人格を養い、社会に貢献できる、自律し自立した有能なる女性を育成します。そのために、以下の能力を身につけ、学部・学科の学位授与方針を満たした者に学士の学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 広い視野をもって専門知識を体系的に理解する力。 2. 価値観の多様性を理解し、他者に働きかけるコミュニケーションスキルと表現力。 3. 問題を発見し、解決に導く論理的思考力。 4. 生涯にわたって活かすことのできる、実践と結びついた豊かな教養と創造力。 <p>現代社会のさまざまな場面において、協働して目標を達成できる力。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>本学ホームページ、『学生便覧』 http://www.atomi.ac.jp/univ/resources/pdf/life/study/gakusei_binran.pdf</p> <p>(p.8、p 424)</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	跡見学園女子大学
設置者名	学校法人 跡見学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	HP (http://www.atomi.ac.jp/information/business/)
収支計算書又は損益計算書	HP (http://www.atomi.ac.jp/information/business/)
財産目録	HP (http://www.atomi.ac.jp/information/business/)
事業報告書	HP (http://www.atomi.ac.jp/information/business/)
監事による監査報告(書)	HP (http://www.atomi.ac.jp/information/business/)

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: 事業計画書)	対象年度: 平成30年度)
公表方法: HP (http://www.atomi.ac.jp/information/business/)	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:
 本学は、平成27年度に大学基準協会より「大学評価(認証評価)」を受け、大学基準に適合していることを認定されたところであるが、その際に提出した「自己点検・評価報告書(平成26年度)」を本学ホームページの以下のサイトに公表している。
<http://www.atomi.ac.jp/univ/about/effort/accreditation.html>

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:
 本学は、平成27年度に大学基準協会より「大学評価(認証評価)」を受け、大学基準に適合していることを認定されたところであるが、そのことは本学ホームページの以下のサイトに公表している。
<http://www.atomi.ac.jp/univ/about/effort/accreditation.html>
 認証評価結果の詳細については本学ホームページの以下のサイトに公表されているが、平成27年度お知らせ欄にあるため分かりづらく、「評価に関する取り組み」サイトへの掲載を検討中である。
<http://www.atomi.ac.jp/univ/news/detail/1528/>
 なお、認証評価結果は大学基準協会ホームページの以下のサイトにも公表されている。
<https://www.juaa.or.jp/search/detail.php?id=47&page=1%23result1>

(3) 学校教育法施行規則第172条の2第1項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 文学部
教育研究上の目的 (公表方法： http://www.atomi.ac.jp/univ/information/policy.html#content-02)
(概要) ■人材養成の目的 (学則) 文学部は、人間に関する豊かな学識や技能を備え、自主的に社会の形成に携わることのできる人材の養成を目的とする。 ■教育目標 人間に関する豊かな学識や技能と、自主的に社会の形成に携わることのできる能力を養う。
卒業の認定に関する方針 (公表方法： http://www.atomi.ac.jp/univ/information/policy.html#content-02)
(概要) 文学部は、人文学・文化表現学・コミュニケーション文化学のそれぞれの課程における学びを通じ、以下に具体的に示す能力を獲得し、人間尊重の精神と豊かな想像力を身につけることを目指す。 1. 人間形成に関わる学識や技能をそなえ、豊かな心と表現力で文化の創造に寄与し、社会に貢献できる能力。 2. 人間が直面するいろいろな問題について積極的に考え、その解決に向けて主体的に努力する能力。 3. 自らの考えを論理的にまとめ、明解な方法で表現できる能力。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： http://www.atomi.ac.jp/univ/information/policy.html#content-02)
(概要) 前期課程においては、学問分野についての基礎的な知識と全体的な視野を学ぶ「総論」、後期課程においては、専門性を高めるために様々な対象や領域を取りあげて考える「各論」、またそれぞれの学問分野における個別のテーマに焦点を当てて探究する「特殊講義」、同時に人文学・文化表現学・コミュニケーション文化学・臨床心理学に共通する専門科目として「文学部共通専門科目」を配置し、これらを学ぶ課程で、広く人間に関する学識や表現力を養う。 また、作品制作、文章表現、実験・臨床等の技能・知識の修得のために、前期課程においては「基礎実習」「実習」「基礎演習」、後期課程においては「特殊演習」「演習」を学ぶ。 あわせて、専門的に学問分野を深めるために、前期課程に学問の基本的な手法を学ぶ「研究入門」、後期課程に少人数によって調査・研究・発表の手法を学ぶ「演習」を配置する。この科目において、みずから設定した当該分野に関わる主題によって研究を深め「卒業論文・卒業研究」にまとめることで、課題を探究する思考力や表現力を修得することを目標とする。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法：公式ホームページ掲載、入学試験要項掲載)
(概要) 跡見学園女子大学は、以下のような能力・意欲・目標を持つ人を求める。 1. 大学教育に求められる基礎的な知識・技能、思考力・判断力・表現力を持つ人 2. 本学の教育課程を理解し、修得しようとする意欲を持つ人 3. 入学後、学問を通じて幅広い視野と専門的学識を身につけ、自律的かつ自立的な社会人となることを目標とする人

学部等名 マネジメント学部
教育研究上の目的 (公表方法： http://www.atomi.ac.jp/univ/information/policy.html#content-03)
(概要) ■人材養成の目的 (学則) マネジメント学部は、現代社会における新しいマネジメントの学識や技能を備え、組織・事業運営の基幹分野で意思決定できる人材の養成を目的とする。(第 57 条) ■教育目標 企業、公共、文化、生活環境など幅広い分野における、新しいマネジメントの知識や技能を修得し、現代社会の諸問題から解決すべき課題を自ら発見し、その解決策を提案する能力を養う。
卒業の認定に関する方針 (公表方法： http://www.atomi.ac.jp/univ/information/policy.html#content-03)
(概要) 企業、公共、文化、生活環境など幅広い分野における、新しいマネジメントの知識や技能を修得し、現代社会の諸問題から解決すべき課題を自ら発見し、その解決策を提案できる以下の能力の修得を目指す。 1. 企業、公共、文化、生活環境のいずれかの専門分野における組織・事業運営のための新しいマネジメントの専門知識を理解する能力。 2. 社会における組織の中でマネジメントを実践するために必要な思考力、自己管理能力、チームワーク力などの基礎的能力。 3. 社会における様々な組織・事業運営における課題を発見し、それを解決する方法を提案する能力。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： http://www.atomi.ac.jp/univ/information/policy.html#content-03)
(概要) 前期課程では、学問の大要と基礎を学ぶために、「学部共通専門科目」、および企業、公共、文化、生活環境分野の「基幹科目」を配置する。 「学部共通専門科目」の「実践ゼミナール」「インターンシップ」の履修により、実践的なマネジメントの技能を学ぶと共に、後期課程に向けて学ぶべき目標や課題を明らかにする。 後期課程では、専門性を高めるために、企業、公共、文化、生活環境分野の「展開科目」を配置します。「展開科目」の履修によって、学問の体系的修得を目指すとともに、解決すべき課題を自ら発見し、その解決策を提案することができる能力の修得を目指す。 後期課程で身につける知識を実践的に展開し、専門領域における創造的思考力・課題解決力・表現力を身につけるために、3年次および4年次に「演習」を配置し、また、自らが発見する課題に対する解決策を提案することにより、論理的思考力と課題解決力を身につけるために、4年次に「卒業論文・卒業研究」を配置する。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法：公式ホームページ掲載、入学試験要項掲載)
(概要) 跡見学園女子大学は、以下のような能力・意欲・目標を持つ人を求める。 1. 大学教育に求められる基礎的な知識・技能、思考力・判断力・表現力を持つ人 2. 本学の教育課程を理解し、修得しようとする意欲を持つ人 3. 入学後、学問を通じて幅広い視野と専門的学識を身につけ、自律的かつ自立的な社会人となることを目標とする人

学部等名 観光コミュニティ学部
教育研究上の目的 (公表方法： http://www.atomi.ac.jp/univ/information/policy.html#content-04)
(概要) ■人材養成の目的 (学則) 観光コミュニティ学部は、観光とコミュニティに関する新しいデザインの学識や技能を備え、コミュニティの抱えるさまざまな課題を解決し、活性化に貢献できる人材の養成を目的とする。(第62条) ■教育目標 観光やコミュニティに関する専門的な知識や技能を修得し、観光業界やコミュニティが抱えるさまざまな問題に対する解決策を提案あるいは実行できる能力を学生が身につけて卒業できることを目標とする。
卒業の認定に関する方針 (公表方法： http://www.atomi.ac.jp/univ/information/policy.html#content-04)
(概要) 観光コミュニティ学部は、学生が観光とコミュニティのそれぞれが抱える課題や活性化のための学びを通じて以下の能力を身につけることを目標とする。 1. 観光とコミュニティに関する学識と技能を修得し、観光またはコミュニティをデザインする能力。 2. 観光とコミュニティの活性化に取り組むことができる能力。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： http://www.atomi.ac.jp/univ/information/policy.html#content-04)
(概要) 観光コミュニティ学部は、学識の修得を段階的に進めるために、学問の大要と基礎を学ぶ「基幹科目」を前期課程に配置し、後期課程において専門性を深化させた「展開科目」「特殊講義」を配置する。 また、実践的な技能の修得を目的に、基本的な能力を学ぶ「基礎ゼミナール」を前期課程に配置し、後期課程では専門的な技能を身につける「特殊演習」「実習」を配置する。 さらに、観光、コミュニティの各分野における諸問題を発見し、解決するアイデアを創出・提案する能力の修得を目指す「演習」を配置する。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法：公式ホームページ掲載、入学試験要項掲載)
(概要) 跡見学園女子大学は、以下のような能力・意欲・目標を持つ人を求める。 1. 大学教育に求められる基礎的な知識・技能、思考力・判断力・表現力を持つ人 2. 本学の教育課程を理解し、修得しようとする意欲を持つ人 3. 入学後、学問を通じて幅広い視野と専門的学識を身につけ、自律的かつ自立的な社会人となることを目標とする人

学部等名 心理学部
教育研究上の目的 (公表方法： http://www.atomi.ac.jp/univ/information/policy.html#content-05)
(概要) ■人材養成の目的 (学則) 心理学部は、人の心についての広く深い科学的な知見と技術をもとに、人々の健康的な人生に寄与し、人間関係の理解とスキルを活かした豊かな組織と社会づくりに貢献する人材の養成を目的とする。 (第70条) ■教育目標 心理学に関する専門的な知識や能力を修得し、人々の健康的な人生や豊かな社会づくりに貢献できる能力を習得することを目標とする。
卒業の認定に関する方針 (公表方法： http://www.atomi.ac.jp/univ/information/policy.html#content-05)
(概要) 心理学部は、人の心についての広く深い科学的な知見と技術をもとに、人々の健康的な人生に寄与し、人間関係の理解とスキルを活かした豊かな組織と社会づくりに貢献する人材の養成を目的とし、以下の能力の修得を目指す。 1. こころの科学としての基礎・実験系、発達・教育系、社会系、医療系等の心理学に関する知識と能力。 2. 心に関する知識と能力を活用して、柔軟に、現実的に問題を解決する力。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： http://www.atomi.ac.jp/univ/information/policy.html#content-05)
(概要) 心理学部は、人々の健康的な人生に寄与し、豊かな社会づくりに貢献するための心理学の幅広い領域に関する学識を修得するのに必要な講義科目・演習科目と、実践的な技能を養う実習科目を配置する。
入学者の受入れに関する方針(公表方法:公式ホームページ掲載、入学試験要項掲載)
(概要) 跡見学園女子大学は、以下のような能力・意欲・目標を持つ人を求める。 1. 大学教育に求められる基礎的な知識・技能、思考力・判断力・表現力を持つ人 2. 本学の教育課程を理解し、修得しようとする意欲を持つ人 3. 入学後、学問を通じて幅広い視野と専門的学識を身につけ、自律的かつ自立的な社会人となることを目標とする人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：http://www.atomi.ac.jp/univ/about/basic/organization_education.html

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	3人	—	—	—	—	—	人
文学部	—	24人	15人	8人	1人	人	48人
マネジメント学部	—	13人	8人	2人	1人	人	24人
観光コミュニティ学部	—	11人	7人	2人	人	人	20人
心理学部	—	6人	3人	1人	人	人	10人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
人		323人					323人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： 本学ホームページの以下のサイトに公表 http://www.atomi.ac.jp/univ/faculty/professor/					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
本学では、各学部および全学共通科目運営センターがそれぞれ独自のFD活動を組織的に行うほか、全学的に共通の課題については、各機関との連携を図る全学教育・研究支援委員会が全教員を対象とするFD活動を積極的に実施している。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
文学部	390人	482人	123.6%	1800人	1983人	110.2%	—人	3人
マネジメント学部	260人	348人	133.8%	1040人	1177人	113.2%	—人	1人
観光コミュニティ学部	200人	262人	131.0%	800人	916人	114.5%	—人	1人
心理学部	120人	154人	128.3%	240人	293人	122.1%	—人	—人
合計	970人	1246人	128.5%	3880人	4369人	112.6%	—人	5人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
文学部	493人 (100%)	21人 (4.3%)	420人 (85.2%)	52人 (10.5%)
マネジメント学部	264人 (100%)	0人 (0%)	251人 (95.1%)	13人 (4.9%)
観光コミュニティ学部	143人 (100%)	0人 (0%)	139人 (97.2%)	4人 (2.8%)
合計	900人 (100%)	21人 (2.3%)	810人 (90.0%)	69人 (7.7%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
文学部	547人 (100%)	467人 (85.38%)	25人 (4.57%)	55人 (10.05%)	0人 (0.00%)
マネジメント学部	276人 (100%)	244人 (88.41%)	14人 (5.07%)	18人 (6.52%)	0人 (0.00%)
観光コミュニティ学部	168人 (100%)	141人 (83.93%)	17人 (10.12%)	10人 (5.95%)	0人 (0.00%)
合計	991人 (100%)	852人 (85.97%)	56人 (5.65%)	83人 (8.38%)	0人 (0.00%)
(備考)					
<p>※退学者の理由では、修学意欲の低下、他の教育機関への進路変更が多いが、大学で学ぶ過程でミスマッチに気づき退学していると考えられる。</p> <p>※留年者の3分の1以上は、4年次まで順調に進級してきて最終学年で卒業要件不足となっている。また、海外留学で休学した学生も増加してきている。</p>					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)

教育課程に従い、過去の履修者数の状況や担当教員の配置等により年間の開講講義数を計画している。計画にあたっては、執行部会議・全学教務委員会・全学共通科目運営センター会議・大学評議会において審議・決定している。

また、各年度の開講科目について、下記の事項を記載したシラバスを作成し、公開している。シラバスの内容については、学生・教職員用のポータルサイトにて検索、照会できる他、大学公式サイト内のシラバス検索ページからも閲覧可能である。

「シラバス記載項目」

- 科目ナンバー
- 科目名
- 担当者
- 開講期
- 科目区分
- 履修開始年次
- 数
- 曜日/時限
- 教室
- 授業題目
- 授業の達成目標
- 今年度の授業内容
- 自習に関する一般的な指示事項
- 授業スケジュール
- 授業の運営方法
- 成績評価の方法（評価の種類・割合(%)・評価基準、評価方法)
- テキスト
- 参考文献
- 関連ページ
- その他、履修生への注意事項

Atomi Information Portal

<https://unipa-web.atomi.ac.jp/up/faces/login/Com00505A.jsp>

シラバス検索

<https://unipa-web.atomi.ac.jp/up/faces/up/co/Com02401A.jsp>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
【要件3の申請様式より再掲】				
『学生便覧 平成31(2019)年度』				
http://www.atomi.ac.jp/univ/resources/pdf/life/study/gakusei_binran.pdf				
成績の評価及びの認定に関する規程 第一章総則				
成績の評価及びの認定に関する規程 第三章成績の評価				
跡見学園女子大学履修規程 第6章雑則 (GPA)				
『跡見学園女子大学 ディプロマポリシー (学位授与の方針)』				
http://www.atomi.ac.jp/univ/information/policy.html#content-01				
学部名	学科名	卒業に必要な数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修の登録上限 (任意記載事項)
文学部	人文学科	124	有・無	44
	現代文化表現学科	124	有・無	44
	コミュニケーション文化学科	124	有・無	44
	臨床心理学科	124	有・無	44
マネジメント学部	マネジメント学科	124	有・無	44
	生活環境マネジメント学科	124	有・無	44
観光コミュニティ学部	観光デザイン学科	124	有・無	44
	コミュニティデザイン学科	124	有・無	44
心理学部	臨床心理学科	124	有・無	44
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：(跡見花蹊記念奨学生選考内規) http://www.atomi.ac.jp/univ/resources/pdf/life/study/gakusei_binran.pdf		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：ホームページにより公表。 (http://www.atomi.ac.jp/univ/information/number_of_staff.html)
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意掲載事項)
文学部	人文学科	742,000円	200,000円	260,000円	
	現代文化表現学科	742,000円	200,000円	260,000円	
	コミュニケーション文化学科	742,000円	200,000円	260,000円	
マネジメント学部	マネジメント学科	742,000円	200,000円	260,000円	
	生活環境マネジメント学科	742,000円	200,000円	260,000円	
観光コミュニティ学部	観光デザイン学科	742,000円	200,000円	260,000円	
	コミュニティデザイン学科	742,000円	200,000円	260,000円	

心理学部	臨床心理学科	742,000円	200,000円	260,000円	1,202,000円
------	--------	----------	----------	----------	------------

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組

(概要)

【経済支援】奨学金に関する事務

学生課が窓口となって下記のような学生支援を行っている。

(一)日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構では、教育の機会均等を図り、社会に有用な人材を育成することを目的として、人物・学業ともに優れかつ健康であって経済的理由のため修学困難な学生に対し学資を貸与する奨学金事業を行っています。返還時、無利子の「第一種」と有利子の「第二種」の2種類がある。

(二)地方自治体の奨学金・その他の奨学金

都道府県及び市区町村では地元出身者の育英奨学のために各種の奨学金制度を設けている。その他にも各種の公私の団体による奨学金制度もある。

(三)跡見学園女子大学後援会修学援助奨学金

跡見学園女子大学後援会修学援助奨学金は跡見学園後援会からの補助金により、経済上の理由で学業の継続が困難な学生に対し、学費援助を目的として給付する。

(四)跡見花蹊記念奨学金(学業奨励賞)

跡見花蹊記念奨学金は本学に在学する特に優秀な成績を修めた学生に対し、大学の授業料の一学期分相当額を給付する。

(五)跡見校友会一紫会修学援助奨学金

一紫会奨学金は、本学校友会「一紫会」の本学創立20周年記念事業として昭和60年度に設立され、平成4年度より給付奨学金となったもので、経済上の理由で学業の継続が困難な学生に対し、学費援助を目的として給付する。

【障害のある学生の修学支援】

すべての学生に教育を受ける権利が保障されるよう障害のある学生への修学支援を行う。

要支援学生については、2017年度以来、学生本人と保護者との連名で提出してもらう「支援申込書」に基づき、教務課と学生サポートセンター等の関連部署が機動的に合同ミーティングを行い、学期ごとに当該学生の履修科目の担当教員全員に配慮願を配付している。

また、平成31(2019)年4月に「跡見学園女子大学 障害のある学生に対する支援の基本的な方針」及び「同障害のある学生に対する支援に関する規程」を策定するとともに、同月より学生支援室を設置し、専門職員を配置して障害のある学生の支援にあっている。学生支援室においては、ボランティア登録学生の活動に関する指針を策定した。

b. 進路選択に係る支援に関する取組

(概要)

進路選択の自己決定への積極的支援として、学年別に支援プログラムを実施しており、段階的に進路選択について考えるための支援を行っている。具体的には低学年対象には学期ごとのガイダンスおよび希望者対象の各種セミナーを実施し、早期に進路に関する様々な情報を提供している。3年次では、通年で実施する「キャリアセミナー」をはじめ、実践的なスキルを身につけられるよう、座学型・実践型・体験型の様々なプログラムを展開している。更には就職活動に関する具体的な情報を提供している。4年次では、ひとりひとりに応じたキャリアサポートとして個別の面談によるサポートのほか、学内合同企業説明会や、進路決定が難航している学生向けのフォローアップセミナー等を実施している。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

平成31(2019)年4月より、学内の組織体制整備により、学生サポートセンターを設置(学生部、保健センターを改組)し、学生の修学面及び学生生活全般に関する支援を行っている。相談事を抱えた学生に対しては学生課が「ワンストップサービス」の窓口となり、保健室、学生相談室、学生支援室の対応のコーディネートをを行っている。

学生サポートセンター保健室、学生相談室、学生支援室の活動については、それぞれの日報に記載されているデータに基づく月次報告を大学執行部会議において行っている。

本学の学生支援の在り方については、学生サポートセンター協議会を定期的に（年一回）開催し、校医、カウンセラー、保健師と大学側の責任者（学長、副学長、学生サポートセンター長、全学学生委員会委員）等との間で保健室、学生相談室の利用状況報告や健康診断等に関する報告を行い、情報共有を行っています。また、学期ごとに学生サポートセンターのカンファレンスを開催し、保健衛生（保健室）やこころの健康（学生相談室）に関する情報交換を行っている。

今後は、学生支援室も協議会やカンファレンスに加わることで、多様な学生の学生生活支援につなげる方向で検討している。

【保健室】

保健・衛生・メンタルヘルス等

・学生の定期健康診断の実施

病気の早期発見や予防のために実施している。

・学生の健康相談

心身の健康に関する疑問や悩みについて、保健師が相談に応じ、校医やカウンセラーにも紹介する。

・保健・環境衛生に関わる知識の普及

・応急処置

怪我をした時、気分が悪くなった時などに利用できる。

【学生相談室】

・カウンセリング

カウンセラーを常駐して、学生のさまざまな悩みの相談を受けている。（家族や友人との来室も可。）

【学生支援室】

要支援学生の支援、ボランティア登録学生の調整や研修などを行っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページにより公表 【<http://www.atomi.ac.jp/univ/>】

：紙媒体による公表【『学術年報』・『FDジャーナル』（刊行物）】

